

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 石川県加賀市
本事業の担当部局名 教育委員会事務局地域学び・スポーツ課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	家庭教育支援事業(赤ちゃんふれあい体験)					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和8年度		
総事業費(A)(円)	193,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	193,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	193,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	184,800	0	0	7,000	1,200	0
	対象経費支出予定額	184,800	0	0	7,000	1,200	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	0	0		193,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0		193,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 加賀市においては、「第4次加賀市男女共同参画プラン」及び「第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し諸施策を推進してきた。 「第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略」では基本目標の一つとして「若い世代の出産・子育ての希望をかなえる」掲げている。婚活イベントの実施や婚活サポート団体への支援、若年層への住宅取得助成等の施策に取り組んできたところであるが、婚姻数や18歳以下の人口割合は減少し続けており効果は現れていない現状である。</p> <p><本個別事業の位置付け> 子どもたちが健やかに成長するために、命の大切さや、家族との関係を考え、年少者に対し優しく接する態度を育成することを目指す。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	家庭教育支援事業(赤ちゃんふれあい体験)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への助産師派遣、乳幼児と親へのインタビュー実施 ・助産師による、赤ちゃんの発育発達や生物学的生命誕生に関する講話(子育て応援ステーション)と、児童が乳幼児を持つ親へのインタビューや乳幼児とのふれあい体験(生涯学習課)をとおして、命の大切さや家族や子育てについて理解を深め、将来のライフデザインを考える機会とする。 ・小学校10校(4～6年生対象)予定 				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 【課題】 ・社会的、家庭的環境の変化から、身近に赤ちゃんとふれあうことや、子どもを育てる親の思いを感じたり、自分自身が大切な存在であると認識したりする機会が減少している。</p> <p>【今年度の取組】 ・赤ちゃんとのふれあいや親へのインタビューを通して、親の気持ちや思いを知ることで、親への感謝、さらには、自分自身や周りの人を大切に</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.6 (令和11年)	1.34 (令和2年)
	女性就業率		%	51.3 (令和11年)	49.9 (令和2年)
	多子世帯数		世帯	2,415 (令和11年)	2,415 (令和6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.34 (令和2年)	
	婚姻件数		件	150 (令和5年)	
	婚姻率			2.39 (令和5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	実施小学校数	校	10 (R8年度)	9 (R7年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90 (R8年度)	83 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					